

福島イノベーション・コースト構想 重点分野等事業化促進事業(伴走支援)について

(公財) 福島イノベーション・コースト構想推進機構

産業集積部 産業連携支援課

TEL:024-581-6890

E-mail:sangyo-renkei@fipo.or.jp

◆福島イノベ機構とは

- 福島県が2017年に設立
- 福島イノベーション・コースト構想の中核的な推進組織という位置づけ
- 構想の実現に向け、幅広い分野をカバー
 - ① 産業集積・ビジネスマッチング
 - ② 教育・人材育成
 - ③ 交流人口の拡大
 - ④ 拠点施設(RTF等)の管理運営
 - ⑤ 情報発信(Hama Tech Channel等)



福島ロボットテストフィールド



東日本大震災・原子力災害伝承館

◆福島イノベ機構と地域復興実用化開発促進事業（イノベ補助金）の関係

地域復興実用化開発等
促進事業費補助金
(イノベ実用化補助金)

事業化のお手伝い

事業化に向けた支援



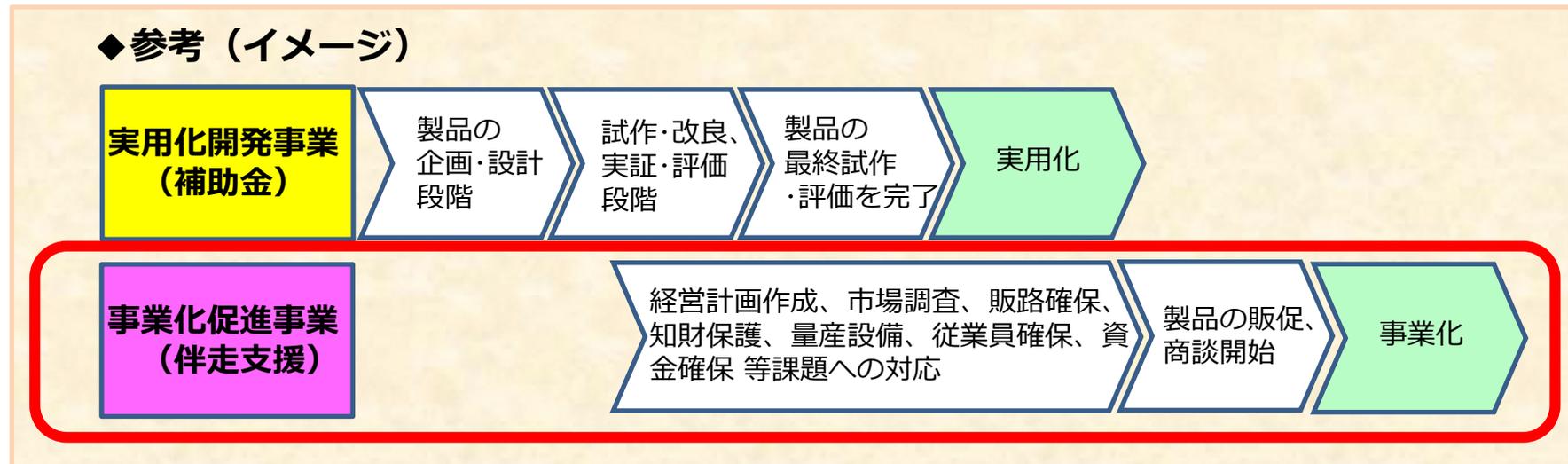
(1) 概要

イノベ実用化補助金の採択を受けて実用化に取り組む企業等（過去に採択を受けた企業等を含む）が、事業化（開発製品・商品の販売）に向けた各種課題の解決に関する支援を実施し、早期の達成を目指します。

(2) 福島県の「イノベ実用化補助金（補助金）」とイノベ機構の「イノベ事業化促進事業（伴走支援）」の違い

「イノベ実用化補助金」では、各企業等に製品開発、部品や要素技術の研究開発を行ってもらい、製品の試作・評価完了した段階 = 『実用化』 させることが主な目標。

「イノベ事業化促進事業」では、『実用化』後の実際の販売活動等展開を行う段階（商談開始） = 『事業化』に移行してもらうことを主な目標として、支援するところです。



市場調査

- ・市場規模調査
- ・自社製品の特性分析
- ・競合他社製品調査
- ・知財戦略支援 等



事業計画等の作成支援

- ・収支計画
- ・販売戦略
- ・投資計画
- ・ビジネスモデル 等



地域復興実用化 開発に取り組む 事業者様を支援

イノベ機構が、事業者様の課題を整理のうえ、各種支援を実施します。

個別マッチング

- ・部材調達先の紹介
- ・金融機関の紹介
- ・技術提携先の紹介 等



一括支援

- ・支援制度説明会の開催
- ・全国規模のマッチングイベントへの参加機会の提供 等



今年度の支援メニューの概要は以下となります。

事業化促進支援

事業連携先：デロイトトーマツコンサルティング合同会社

支援先企業の全般的な課題把握、経営戦略や市場戦略の策定支援や戦略の実行支援など

ネットワーキング支援

- ・自治体等との引き合わせ
- ・部材調達支援

財務戦略支援

事業連携先：とうほう地域総合研究所

資金調達に係る金融機関／VCとの引き合わせや、その前後での助言など

マーケティング／プロモーション支援

- ・デプスインタビュー
- ・プレスリリース支援
- ・合同プレス発表会
- ・展示会出展支援（ブースの提供）

マッチング支援

事業連携先：経営支援NPOクラブ

企業やバイヤーを招致し、商談のフォローアップを支援

人材確保支援

- ・関係機関（移住相談窓口等）への紹介
- ・学生との交流機会の創出

知財戦略支援

事業連携先：デロイトトーマツ弁理士法人

知財戦略に関する助言、先行技術調査や特許性調査、特許出願など

その他支援

- ・各種補助金情報等の提供（メルマガ）

■ 事業化促進支援

- コンサルティングファームと連携しながら、「イノベ実用化補助金」に採択されたテーマを対象に、訪問・オンライン等でヒアリングを行い、各事業者が抱えている課題解決のための支援を実施。

- 市場調査、技術面での課題解決や販路開拓に向けたマッチング、販売戦略の策定、資金調達に向けたアドバイスなど、課題に応じて、具体的な支援を実施。



訪問等 延べ249回
(2023年度)

事業化に至った事例 27件
(累計119件) (2023年度末)

■ 知財戦略支援

- 事業化支援により、知財課題等を把握した19社を対象に、弁理士による専門的支援を実施。

<主な支援内容>

- ✓ 現状分析レポートの作成
- ✓ 先行技術調査、先行文献調査、特許性調査
- ✓ 特許出願（代理人業務）
- ✓ 商標調査
- ✓ 商標出願（代理人業務）
- ✓ 意匠出願（代理人業務）

区分	出願		査定・登録	
	R5	累計	R5	累計
特許	10件	39件	8件	16件
商標	8件	19件	7件	14件
意匠	0件	1件	1件	1件

■ マッチング支援/マーケティング支援

- 実用化が完了し事業化（＝商談を開始）したものの、新たな販売先の開拓につなげていない課題へ対応するため、販売実績向上に向けた支援を実施。

<支援メニュー>

- 首都圏商談会出展への支援
- 大企業等の顧客候補のマッチング
- 有識者インタビューの実施
- プレスリリース支援



■ 企業間のマッチング機会の設定

- 浜通り地域を含む、県内全域への経済効果の更なる波及に向けて、**地元企業と実用化補助金採択企業とのマッチング支援を実施。**
- 2023年度は、**57件の企業間マッチングをイノベ機構の仲介により実施。**（取引成立：**10件確認済み**）
- 研究開発後の量産に向けて、製造委託先（候補）の紹介なども実施。

<ビジネスマッチング後の取引成立事例>

進出企業	地元企業	取引内容
ロケット関連企業	ソフトウェア開発企業	制御関係ソフトウェアのテスト
農業用ロボット開発企業	資材関係小売企業	研究開発に必要となる資材の調達
医療機器開発企業	医療法人	施設において実証実験を実施 （将来の顧客候補の開拓）
プログラミングロボット開発企業	観光関連企業	夏休み大型イベントでの活用

■ 報道機関を対象とした合同プレス発表会の開催

- 単独企業では報道機関に取り上げられにくい、または取り上げられたとしても露出が少ないケースがある
- イノベ機構が報道機関各社に声掛けをし、合同で発表する機会を年3回設定
- 昨年度は首都圏でも開催し、今年度も計画中

■ 学生との交流機会の創出

- 福島県内や近隣地域の大学生等がイノベ企業に関心を持ち、将来の選択肢の1つとして浜通り地域への就職を考える機会を提供
- 今年度は、交流会を2回（9月、2月）開催予定

<昨年度の実績>

- 第1回：会津大学9名／福島大学3名
- 第2回：福島高専24名／日本大学1名／他1名



首都圏イノベ企業合同プレス発表会場の様子（R6.2.28）



- **工業高校生及び県内大学生等を対象**に地元企業・研究機関等と連携した取組を支援し、イノベ構想への関心を喚起する人材育成と**地元就職を促進する人材確保**を目指す。

【対象校】

県内工業高校10校、テクノアカデミー3校、福島工業高等専門学校、福島大学、会津大学、日本大学工学部

【対象企業】

イノベ構想地区の企業等、中通り地区の重点6分野関連企業

【令和5年度の事業内容と実績】

内容		実施件数
人材育成 イノベ構想を担う人材を育成	イノベ講演会（イノベ構想の概要、関連専門分野などの講演）	8
	出前授業（企業や大学教員等によるイノベ関連の授業）	41
	施設見学（イノベ関連の施設やイベントの見学）	66
人材確保 イノベ構想に関連する地元企業への就職に結びつける	企業見学（就職を目的としたイノベ関連企業の見学）	
	企業紹介セミナー（イノベ関連企業を参集した説明会）	3
	保護者向け講演会（保護者の地元企業への理解を深める講演）	3
	企業紹介動画（地元企業の説明・卒業生メッセージ動画配信）	7
実績総数（人材育成＋人材確保）		128

● **生徒の声（一部抜粋）**

- 日本を支えている会社の一つだと感じたし、自分もこのような会社にぜひ入社したいと思った。
- これからの社会に活かしていけるような事業を行っているこの会社に興味を持った。
- 社員の皆さんが会社の成功を願っていることがわかり、私もこのような企業に入社したいと思った。
- 今後の進路選択や職業選択に生かしていきたいです。
- 将来就職するときの良い参考になったので、とてもよい見学になりました。



- 福島県の未来を牽引する若者たちに対して、福島イノベーション・コースト構想に関わる有識者を招聘する出前講座。
- **福島県内の小中学校、高校、大学や特別支援学校等を対象に実施。**
- 「イノベ構想の周知」に留まらず、先進的な技術等を「学ぶ機会」を提供する。
- 各校の探求学習の一助となる機会の提供。

【事例・感想等 (2023年度)】

小学校	中学校	高等学校
<p>9/7いわき市立長倉小学校 対象：5年生 24名 分野：農林水産業 その他(情報発信) その他(イノベーション教育)</p>   <ul style="list-style-type: none"> ・みんなもっといろいろなことをやってみたい。 ・みんながワクワクするようなことを書いたり、発信したい。 ・イノベーションコーストのことをもっと知りたくなった。 ・ロボットを実際に見てみたい。 ・もっといろんな人たちにいろいろなことを伝えたいです。 	<p>6/28大玉村立大玉中学校 対象：1年生 94名 分野：ロボット・ドローン 農林水産業 エネルギー・環境・リサイクル その他(イノベーション教育)</p>   <ul style="list-style-type: none"> ・イノベ構想の中には、福島の特徴を利用した6つのプロジェクトがあることを知りました。 ・私たちに出来ることは何かとの質問に「いろいろなことに興味を持つこと」その言葉が印象に残りました。 ・イノベ構想の主役は自分たちだということを実感した。 	<p>7/25・27日本大学東北高等学校 対象：2年生 106名 分野：ロボット・ドローン エネルギー・ 環境・リサイクル 医療関連 廃炉 農林水産業 その他(放射線教育)</p>   <p>※生徒は興味のある2講座を選択</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数値で安全性を保証しても風評被害を懸念され、なかなか理解してもらえない現状を知りました。 ・将来について考える時に、「興味を持つこと」の重要性を知りました。 ・ロボット開発をする上での努力や楽しさを理解できた。 ・再生可能エネルギーの普及度が福島はとて高いと驚きました。

- 来訪者のニーズにあわせたオーダーメイド視察をコーディネート

■ オーダーメイドツアー視察対応

実施件数／人数

40件／709名
(2023年4月～2024年3月)

<参考：内訳>
企業 16件
商工団体・金融機関 13件
教育・研究機関 5件
行政機関 5件
その他1件

(参考) 2022年度
実施件数／人数

38件／607名



福島ロボットテストフィールド



福島水素エネルギー研究フィールド

【参加者の声】

- ・廃炉の状況を確認し、復興支援を継続したい。社員にも支援の必要性、環境負荷の低い行動を考えさせたい。
- ・ドローン、水素など先端的な取組を知ることができた。当社が新規事業を展開する際に連携できそうな企業もあった。

■ みんなで学ぼう！福島イノベ構想ってなあに？

- (新地町)** 2023年10月 9日(月・祝) 参加者数 29組 77名 (子供42 保護者35)
アンケート結果：・参加者満足度：99% (目標95%) ・構想の認知度：開催前33%⇒97% (目標90%)
参加者の声：「分かりやすい説明、楽しい運営で有意義な時間を過ごすことができました。勉強になりました。」
- (郡山市)** 2023年12月23日(土) 参加者数 47組 127名 (子供70 保護者57)
アンケート結果：・参加者満足度：100% (目標95%) ・構想の認知度：開催前37%⇒93% (目標90%)
参加者の声：「遊びを通じて学べたので、イノベ構想がとても身近に感じ楽しかったです。」



トイドローン操縦



ロボットプログラミング



理科実験

◁ ペんぎんナッツ による
「見える化セミナー」の様子

後日、セミナーの様子を
「BSよしもと」で放送▷
(放送日：2024.2.6)



■ 見える化セミナーinいいたて

- (飯舘村)** 2024年1月27日(土) 参加者 78名
テーマ「わくわくする楽しいふるさと飯舘村を目指して」
基調講演 株式会社バイオマスレジホールディングス 取締役副社長 ナカヤチ 美昭氏
東京大学大学院 農学生命科学研究科 農学部 教授 溝口 勝氏
トークセッション 株式会社リファー 代表取締役 菊野 里絵氏
株式会社サガデザインシーズ 飯舘オフィス長 渡部 沙織氏



- 当機構ウェブメディア「**Hama Tech Channel (ハマテックチャンネル)**」にて、浜通り地域等を先導するリーダーたちに、構想に掛ける自身の思いや役割、福島発のイノベーションにどのように貢献していくのか等、ユーザー（ビジネスパーソン）の指針となる記事を掲載。

2023年度掲載記事

カテゴリ	インタビュー対象者	プロフィール等
サステナビリティ	星川 尚久 氏、 金子 純一 氏	大熊ダイヤモンドデバイス 代表取締役 大熊ダイヤモンドデバイス 取締役
サステナビリティ	後藤 貞明 氏	福島三技協 代表取締役社長
サステナビリティ	高松 聡 氏	ARCALIS 代表取締役CEO
サステナビリティ	中越 孝憲 氏 豆塚 輝行 氏	ベルグ福島 代表取締役社長 ベルグ福島 取締役農場長
サステナビリティ	中田 浩一 氏 工藤 真哉 氏	次世代グリーンCO2燃料技術研究組合 理事長 (トヨタ自動車株式会社) 次世代グリーンCO2燃料技術研究組合 理事 (株式会社SUBARU)
未来テクノロジー	川又 尋美 氏	株式会社AIMS 代表取締役CEO
未来テクノロジー	小田 翔武 氏	AstroX株式会社 ファウンダー／代表取締役CEO
リーダーシップ	松延 紀至 氏	株式会社HANERU葛尾 代表取締役社長



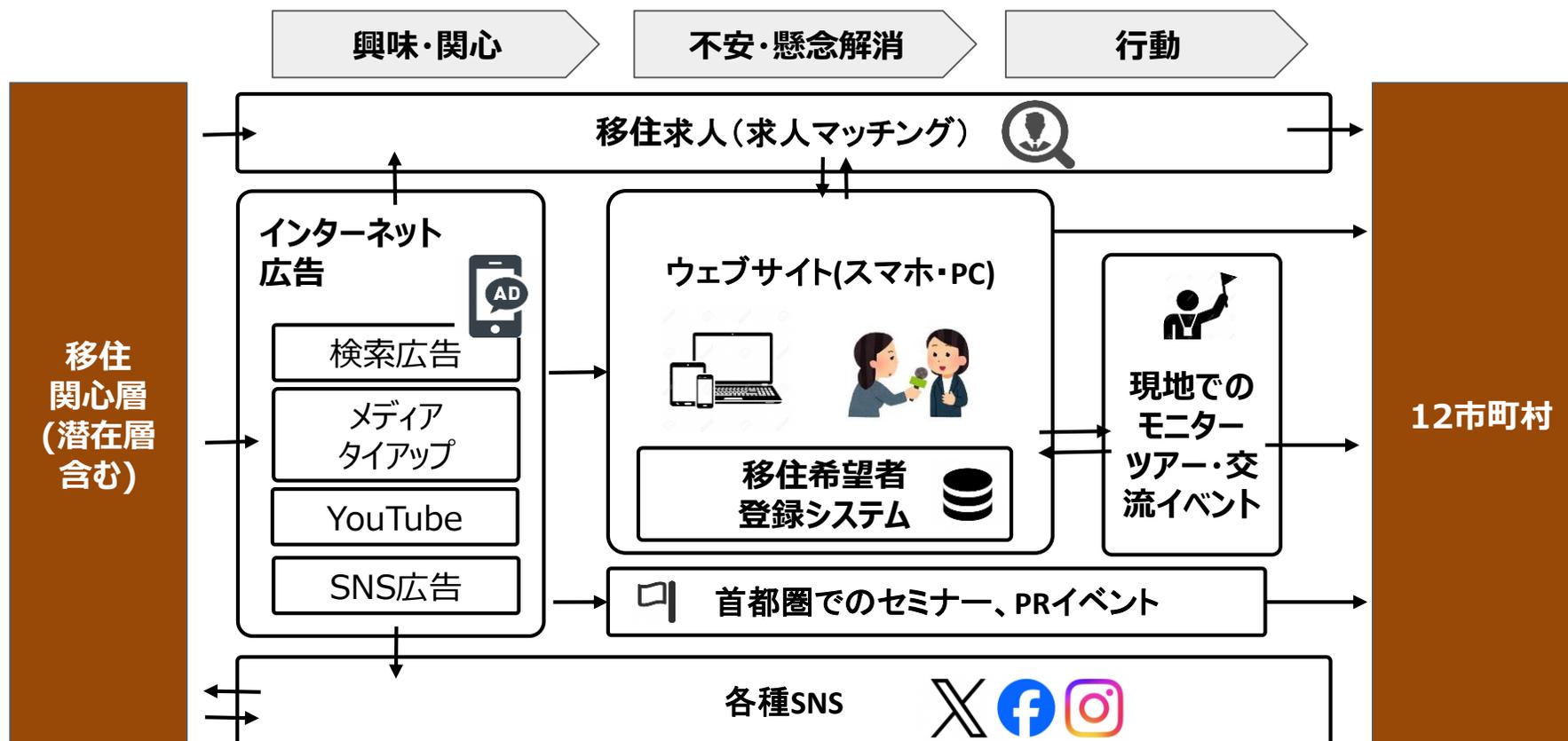
星川 尚久氏、金子 純一氏 (大熊ダイヤモンドデバイス) インタビュー (2023.11.17記事掲載)



中田 浩一氏、工藤 真哉氏 (次世代グリーンCO2燃料技術研究組合) インタビュー (2024.3.6記事掲載)

- 12市町村への移住推進に向け、ウェブサイトでの求人マッチングを実施
- 首都圏セミナーや現地モニターツアーなども開催
- 具体的な移住イメージを高め、現地にある企業の様々な求人情報を提供することで、移住につながるアクションへと繋げる。

未来
ワーク
ふくしま



※12市町村：イノベ地域15市町村のうち、相馬市、いわき市、新地町を除く

※12市町村と連携・協働した各取組の実行においては、市町村支援課がコーディネート。

未来
ワーク
ふくしま



いずれも2024年3月末時点実績値

2023年度のウェブサイト閲覧は3月末時点で202万ページビュー、105万ユニークユーザーを達成。メルマガも累計約4,000名の方が登録。動画広告等のタイアップ企画も12万回超の再生。

未来
ワーク
ふくしま

医療・福祉・保育特設ページ



リモート・フリーランス特設ページ



子育て特設ページ



<https://mirai-work.life>



メルマガを月2回配信





福島イノベ機構

＜お問い合わせ先＞

公益財団法人 福島イノベーション・コースト構想推進機構

産業集積部 産業連携支援課

〒960-8043 福島県福島市中町1-19 中町ビル6階

TEL : 024-581-6890 FAX : 024-581-6898

Mail : sangyo-renkei@fipo.or.jp

H P : <https://www.fipo.or.jp>